

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	八千代市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年12月12日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月12日		～ 2026年1月23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育経験が長い職員が対応していること、直接の訪問は無くとも対象児の状況により専門職からの意見も取り入れ分析を行い支援方法の提案を行っている。	対象園の方針や状況を踏まえ、集団生活に取り入れやすい支援方法の提案を心掛けている。	訪問支援員のスキルアップを図っていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用対象者の限定及び訪問回数の制限。	職員体制。	訪問職員の育成を図っていきます。 保育所等訪問支援以外に県から委託を受けている施設支援の周知と拡充を図り、集団生活における個別配慮や支援の必要性や手段の提案に努めて参ります。
2	保護者の想いを聞き取る機会が少ない。	通園施設ではないため、保護者と顔を合わせる機会が少ない。 保護者との連絡は文書を中心に行い希望により電話相談や面談を受け付けているが、保護者によっては自らの発信ができずにいることも予測される。	今年度より新規契約者の面談を行い、対象児の状況や保護者の想いやニーズを聞きとっている。今後、継続児保護者に対しても定期面談の実施を検討していく予定。
3			